

「長老・監督の資格」

2019年05月07日

テトスへの手紙 1章5節～16節 あなたをクレタに残してきたのは、わたしが指示しておいたように、残っている仕事を整理し、町ごとに長老たちを立ててもらうためです。長老は、非難される点がなく、一人の妻の夫であり、その子供たちも信者であって、放蕩を責められたり、不従順であったりしてはなりません。監督は神から任命された管理者であるので、非難される点があってはならないのです。わがままでなく、すぐに怒らず、酒におぼれず、乱暴でなく、恥ずべき利益をむさぼらず、かえって、客を親切にもてなし、善を愛し、分別があり、正しく、清く、自分を制し、教えに適う信頼すべき言葉をしっかり守る人でなければなりません。そうでないと、健全な教えに従って勧めたり、反対者の主張を論破したりすることもできないでしょう。実は、不従順な者、無益な話をする者、人を惑わす者が多いのです。特に割礼を受けている人たちの中に、そういう者がいます。その者たちを沈黙させねばなりません。彼らは恥ずべき利益を得るために、教えてはならないことを教え、数々の家庭を覆しています。彼らのうちの一人、預言者自身が次のように言いました。「クレタ人はいつもうそつき、／悪い獣、怠惰な大食漢だ。」この言葉は当たっています。だから、彼らを厳しく戒めて、信仰を健全に保たせ、ユダヤ人の作り話や、真理に背を向けている者の掟に心を奪われないようにさせなさい。清い人には、すべてが清いのです。だが、汚れている者、信じない者には、何一つ清いものはなく、その知性も良心も汚れています。こういう者たちは、神を知っていると公言しながら、行いではそれを否定しているのです。嫌悪すべき人間で、反抗的で、一切の善い業については失格者です。

パウロはテトスをクレタ島に残し、残っている仕事を整理し、町ごとに長老を立てるように指示した。長老は、非難される点がなく、一人の妻の夫であり、子どもたちも信者で、放蕩者、不従順であってはならない。まず、家庭円満が求められている。監督は神から任命される管理者であるから、非難される点があってはならない。我がままではなく、すぐに怒らず、酒に溺れず、乱暴でなく、恥ずべき利益をむさぼらず、かえって、客を親切にもてなし、善を愛し、分別があり、正しく、清く、自分を制し、と品格が求められている。また、教えに適う信頼すべき言葉をしっかり守る人でなければなりません。そうでないと、健全な教えに従って勧めたり、反対者の主張を論破したりすることもできない、と理性的、論理的な教育者であることが求められている。

教会には不従順な者、無益な話をする者、人を惑わす者が多い。特にユダヤ主義を振り回す割礼を受けている人たちの中に、そういう者がいるが、彼らを沈黙させねばならない。彼らは恥ずべき利益を得るために、教えてはならないことを教え、数々の家庭を覆している。彼らのうちの一人、預言者自身が、「クレタ人はいつもうそつき、／悪い獣、怠惰な大食漢だ」と言っているが、この言葉は当たっている。「だから、彼らを厳しく戒めて、信仰を健全に保たせ、ユダヤ人の作り話や、真理に背を向けている者の掟に心を奪われないようにさせなさい。」清い人には、全てが清い。汚れている者、信じない者には、何一つ清いものはなく、その知性も良心も汚れている。彼らは、神を知っていると公言しながら、行いではそれを否定している。彼らは嫌悪すべき人間で、反抗的で、一切の善い業については失格者であると忠告している。